



TOWN  
TOPICS

# まちのわだい



## 春の叙勲

### 県警嘱託医 内田徳郎さんに瑞宝双光章

35年の永きにわたり、変死事件の検視や容疑者の診療等を行う県警嘱託医として貢献されている内田徳郎さん(医療法人大徳会理事長 69歳 宮地)に瑞宝双光章が贈られました。

内田さんは、前病院が阿蘇警察署の前に立地していたこともあり、事件などで不幸にも亡くなられた方々を診るという職務協力を決意。以来これまでに約1,000件(内、屋外での死亡が6割、自宅での死亡が4割)の検視を担当してこられました。内田さん(管内には私のほか数名の嘱託医がいますが、この10日間で5件の検視があるほど件数は多いです。数年前までは、ヘリコプターがなく、山を歩いての山岳救助も数え切れないほど体験しました。いたたまれないケースもあり、つらい思いをしたこともあります。しかし、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、これからも県警嘱託医として体の続く限り頑張りたいと思います)と話されました。



▲ラージボール卓球では、通常のボールより4mm大きいボールを使用。



ストレッチから基本まで丁寧に指導していました



高木 誠也さん

高木氏は前回のアテネオリンピックでは、愛ちゃんこと福原選手にも指導したそうです。



珠江さん

## 卓球教室を開催

### 元全日本ナショナルチームコーチが指導

阿蘇市卓球協会主催による生涯学習卓球教室(ラージボール卓球)が、4月30日、阿蘇体育館で開催されました。当日は、元全日本ナショナルチームコーチ(アテネオリンピック女子日本代表コーチ)の高木誠也氏と妻であり元全日本代表でもある高木珠江氏を招き、卓球についての話や技術指導が行われました。ラージボール卓球の教室に参加された方は、ストレッチなど基本となる動作を学び、ラリーやゲームなど熱心に体を動かし汗を流していました。

また、当日は地元の中学生を対象とした中学生強化研修会も同時に行われ、熊本県内トップクラスの高中生や卓球部顧問の先生などが研修会のサポートにまわり、練習が行われました。中学生にとっては貴重な体験になったかと思います。

阿蘇市卓球協会では年間通して生涯学習卓球教室などを行っています。今後も定期的にラージボール卓球の研修会を予定しておりますので、皆さんご近所お誘いあわせの上、気軽にご参加ください。

問い合わせ先 阿蘇市卓球協会事務局  
岩永 昭次 TEL 22-2222

▶平成16年度優秀賞作品  
祖母の着物をリメイク  
して作った日傘とバック。



▶平成17年度優秀賞作品  
縦115cm横82cmの壁かけ。



## ミシン縫い作品で全国大会優秀賞

### 2年連続優秀賞の快挙！二宮麻衣子さん

第26回ホームソーイング作品コンクール全国大会(小物・インテリア部門)で、小・中・高校生の裁縫作品4,081点が審査され、二宮麻衣子さん(尚綱高校2年、内牧4区出身)の作品が、2位にあたる優秀賞に輝きました(表彰式は3月4日東京都の経済連会館で開催)。昨年に続き2年連続の優秀賞です。

二宮さんは、小学校4年から手芸の上手なお母さんの影響で手芸を始め、中学1年からこのコンクールに出品。ハイレベルなミシン使いと斬新なアイデアで、毎回入賞を重ねている実力の持ち主です。今回の作品(写真)は製作日数2ヶ月。生地で3センチ幅のテープを作り、平織りした壁掛け。桜も特殊染色で手描きたくさんのテープにかけられた端ミシンがとても美しいと審査員に高く評価されました。今後も学業と両立しながら次の作品に向け、技術を磨いている二宮さんです。

## 数々の大会を制覇！強い

### 少年野球チーム一の宮マリズ

少年野球チーム一の宮マリズ(20人)が、福岡県で5月3～5日開催された第7回大川市長旗争奪少年野球大会で、84チームが参加する中、見事優勝しました。

勝因について鳴瀬監督は「チームづくりが早くできた。バッテリーのできも最高」と感想。マリズは、このほか、最近出場した数々の大会で好成績を収めています。

一の宮マリズは、子どもの健全育成を目的に、現監督が阿蘇地区で初めての少年野球チームとして平成8年に結成。以来、週5日の練習を重ね実力あるチームへと成長しました。マリズは、いつも社教グラウンドで練習しています、応援をお願いします。



#### 最近出場した大会の実績

- ・第7回川上哲治旗小学生野球大会優勝(10月)
- ・第4回明治乳業旗争奪少年野球新人大会優勝(11月)
- ・第8回玉名町招待新人戦大会優勝(12月)
- ・鹿児島大口市少年野球大会優勝(4月)
- ・第7回大川市長旗争奪少年野球大会優勝(5月)
- ・第10回毎日旗争奪久留米少年野球大会準優勝(5月)

## ヤマメ釣り大会用のぼり旗等一式を寄贈

### 三城さんが地域おこしに貢献

みしろ まさあき

手野に在住の三城正明さん(55)が5月9日、ヤマメ釣り大会用のぼり旗一式50セットを阿蘇市に寄贈されました。なにか自分にできることで地域おこしに協力し、地域が活性化されればと思い、手野で開催されるヤマメ釣り大会に合わせてのぼり旗一式の寄贈を考えたそうです。寄贈いただいたのぼり旗一式50セットは、手野きよら会の皆さんで、イベント当日まで手野周辺に設置していただきました。三城さん、手野きよら会の皆さん、ありがとうございました。



◀寄贈したのぼり旗を掲げる三城さん(左)



## 乙姫子安河原観音例大祭

### 子授かり安産の守り神を祀る

5月8日、乙姫の子安河原観音で祭事が行われ、宮司による神事が執り行われました。当日は、子安河原観音公園で乙姫保育園及び乙姫小学校合同での新入生歓迎遠足も行われました。

ここ乙姫子安河原観音は「子授かり安産」の守り神が祀られていることで有名で、地元の方々に昔から親しまれ、子授かりや安産の際は必ずお参りしていたそうです。平成6年には公園・トイレ新築・給水・進入路が整備され、きれいな公園になっています。また、県内外から年間3,000人以上の参拝者が訪れるとのことでした。



#### 御参りの仕方

1. お堂にお参りする。
2. 子安河原(子安川)で川石(焼石)を拾う。授かり希望が男の子であれば黒石、女の子であれば赤石
3. 拾った石を股にはさみ、お堂にお参り祈願する。
4. 祈願された石を家に持ち帰り、仏壇もしくはそれに代わるところに安置する。
5. 願いがかなったら、持ち帰った石を乙姫子安河原観音の祠に返し、お礼参りする。

問い合わせ先 32-0672

#### 子安河原観音由来・・・

乙姫子安河原観音様「子授かり安産」の守り神として、広大な慈悲の姿で乙姫川の上流・子安川の地に鎮座されています。上向きに寝た女体の形をした自然石で、胸から股の辺りまでを表し、それが観音様のお姿に喩えられています。約1,500年前、神功皇后の安産を祈られたと伝えられ、また近くには大正天皇の御降誕の折、阿蘇大宮司は七日七夜、ご安産を祈られ、その御神石を宮中に奉持し、金五円を宮中から下賜されました。このように古来から皇室の尊信をはじめ、地域の尊崇を集めて参拝者が絶えません。

子どもの欲しい人は乙姫子安河原観音に来て川石を持って帰り、股にはさむと必ず子宝を授かると言い伝えられています。祭日は毎年5月8日です。



## 阿蘇清峰高校が「あか牛ソーセージ」を試作

### 清峰式スーパー放牧で効率よい肥育を実践



阿蘇清峰高校生物科学科では、あか牛の時間制限による輪換放牧などで粗肥料多給を目指す肥育プロジェクト「清峰式スーパー放牧」を実践し、労働時間の短縮飼養管理の省力化・経費削減 あか牛の健康維持に効果があることを確認するなど、新たな畜産経営を学んでいます。また、脂肪の少ない肉質と放牧飼育を武器に繁殖から肥育、精肉販売まで手掛ける産直方式で「清峰牛」を生産し、ブランド化を目指しています。

#### 阿蘇の特産品あか牛でこだわりの逸品づくり

さらに、生徒たちは、あか牛の消費拡大を図るため、加工食品づくりにもトライ。その名も「あか牛ソーセージ」。その試作品がこのほど完成し、早速、宮地のレストランの協力で、特別にメニューに入れてもらい、お客さんからアンケートを取ってもらいました。「あか牛の利用法が広がるのはいいこと」「美味しい。地域の特産品として必要」など消費者からの意見に、生物科学科2年の甲斐友里恵さん「あか牛ソーセージの製造技術が確立し、阿蘇のイメージ商品としての位置づけができてうれしい、今後も地域オリジナル商品の研究を継続します」と話し、やる気につながりました。

みなさん、知ってますか？  
あか牛ってすごいんです!!



甲斐友里恵さん

栄養素は、魚のマグロに匹敵する高たんぱく、低カロリー

あか牛の赤身には、体脂肪を燃焼させる効果のあるカルニチンがたくさん。肝機能向上、血圧降下作用のあるタウリンは、特にもも肉に多く含まれています。

環境保全にも役立っています

草原への放牧は、草原の雑木化を防ぎます。私たちがあか牛の肉を100グラム食べれば7.5㎡の草原が守れ、美しい景観が保たれるのです。

## 津田さん(阿蘇中3年)、世界へ!

### 世界ジュニアテコンドー選手権大会の日本代表に選ばれる



世界大会を前に5月10日、市長を表敬訪問した津田さん。手にしているのは日本代表の「認定証」。

4月15日、神奈川県横浜市の保土ヶ谷スポーツセンターにおいて、第6回世界ジュニアテコンドー選手権大会代表選考会が行われ、津田ひかるさんが代表選手の権利を獲得しました。今大会は10階級にわかれ、14～17歳の枠で争われましたが、14歳の津田さんは全国からトップクラス選手(出場者の多くが高校生)が出場するなか、見事優勝しました。

今後、津田さんはベトナム・ホーチミン市で7月26日～30日で行われる、第6回世界ジュニアテコンドー選手権大会に日本代表として出場します。津田さんも「6月26日～30日で行われるコリアオープン(韓国での大会)で弾みをつけて世界大会に挑みたい。世界の実力を肌で感じ取りたい。」と意気込みを語ってくれました。津田さん頑張ってください。

## 地域おこしを実施、みやび+1

### 五月端午の節句を開催

5月9日～14日の間、仲町通りの池田さん宅(元花屋さん)で、みやび+1が第7回五月端午の節句展を開催しました。端午の節句の兜や鯉のぼりなどは会員や地元の商店街の方々からお借りし、地域の方や観光客などに披露。また開催中、子どもたちが遊びに来るとぬりえで遊ばせるなどして、子どもたちのいこいの場にもなっていました。

みやび+1は女性21名で結成された地域づくり団体で、年間通して活動を行っています。今回も空き店舗を利用し、少しでも地域おこしに繋がればという思いで取り組まれています。



節句展に遊びに来ている子どもたち

## 今年度も各部会で啓発活動を推進

### 阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会



総会のようす

平成18年度阿蘇市人権・同和教育推進協議会総会が、5月18日、阿蘇いこいの村で開催され、平成17年度の実績及び平成18年度事業計画を協議会事務局、社会人権・同和教育部会、就学前人権・同和教育部会、学校人権・同和教育部会、進路保障部会がそれぞれ報告しました。平成18年度も人権集会など様々な活動が予定されています。

総会終了後は、研修会が実施され「裁判員制度」に関する人権啓発映画上映が行われました。



## 阿蘇市出身の甲斐まり 恵さん

### お天気アナウンサーとしてテレビで活躍

阿蘇市(旧一の宮町)出身の甲斐まり 恵さんが、今年の4月より、テレビ朝日「やじうまプラス(毎週月～金曜朝放送)」のお天気キャスターを担当しています。甲斐さんは一の宮中学校卒業生で、現在株式会社セント・フォース所属のフリーアナウンサーとして活躍しています。



皆さんこれからも  
甲斐さんを応援してください。



#### プロフィール

生年月日：1980年 6月13日

特 技：日本舞踊、ピアノ、  
クラリネット

## スケール誇る花の祭典



### 多くの人出で賑わう

初夏の花々とイベントを結びつけた「阿蘇の花の祭典」が、ゴールデンウィークから6月初旬まで開催されました。＜第56回仙酔峡つつじ祭り・阿蘇山上つつじ祭り・波野すずらん祭り・はな阿蘇美バラ祭り＞を次々にリンクさせたのは初めての試みでしたが、どの会場もたくさんの人で賑わい、新緑とともに、阿蘇の美しさを大いにPRできました。



ミヤマキリシマ開花期間中、  
仙酔峡7万人(左)、阿蘇山上30万人(右)の人出に。

『今年もたくさんの花が咲いてくれました』  
阿蘇の花の祭典実行委員長 志賀昭男さん

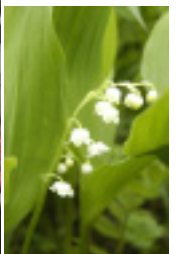


関係者の協力でこのような「阿蘇市が一つになった花のイベント」を開催できたことを心からうれしく思います。心配していたミヤマキリシマも見事に咲いてくれました。早いうちに手入れをしたせいかと思えます。協賛イベントでは、一の宮町商工会が行ったチャレンジASOサイクリング大会が参加者300人を超えるなど年々伸びており、青年部が行った「ふれあい動物」も大変賑わいました。各種スポーツ大会も行われ県内外の選手が阿蘇でさわやかな汗を流していました。

仙酔峡のつつじをはじめ、阿蘇山上のつつじ、波野のすずらん、はな阿蘇美のバラ、どれをとってもすばらしい素材をもった伝統ある祭りですので、これからも、工夫を重ね頑張っていきたいと思えます。



(写真上) JR宮地駅が主催し  
毎年開催しているウォーキングツアー。参加者も320人と、年々人気を増えています。この日は、水基巡り・竹原牧場・古代の里美術館・仙酔峡などを楽しみました。



すずらん祭り